

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0026

| 平成31年度行政事業レビューシート (内閣官房) | | | | | | | | | |
|--|---|----------------|--------|--|---------------------------|------|--------|--------------|----------------|
| 事業名 | 水循環推進経費 | | | 担当部局庁 | 内閣官房副長官補 | | | 作成責任者 | |
| 事業開始年度 | 平成27年度 | 事業終了 (予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 水循環政策本部事務局 | | | 参事官 若林 伸幸 | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 水循環基本法 | | | 関係する 計画、通知等 | 「水循環基本計画」(平成27年7月10日閣議決定) | | | | |
| 主要政策・施策 | - | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 水は生命の源であり、絶えず地球上を循環し、人を含む多様な生態系に多大な恩恵を与え続け、また、水は循環する過程において、人の生活に潤いを与え、産業や文化の発展に重要な役割を果たしてきた。水が健全に循環し、そのもたらす恵沢を将来にわたり享受出来るよう、水循環に関する施策を総合的かつ一体的に推進し、もって健全な水循環を維持又は回復させ、我が国の経済社会の健全な発展及び国民生活の安定向上に寄与することを目的とする。 | | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | <ul style="list-style-type: none"> ・水循環基本法に基づき、水循環に関する基本的な計画(以下「水循環基本計画」という。)を定め、流域の総合的かつ一体的な管理を行うための施策を推進する。 ・水循環基本法に基づき、年次報告(水循環白書)を作成し、国会に、政府が水循環に関して講じた施策に関する報告を提出する。 ・国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水循環基本法において定められた水の日(8/1)の趣旨にふさわしい事業を実施する。 | | | | | | | | |
| 実施方法 | 直接実施、委託・請負 | | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度要求 | | |
| | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 40 | 67 | 65 | 65 | 115 | | |
| | | 補正予算 | - | - | - | - | - | | |
| | | 前年度から繰越し | - | - | - | - | - | | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | - | - | - | - | | |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | - | | |
| | 計 | | 40 | 67 | 65 | 65 | 115 | | |
| | 執行額 | | 35 | 60 | 63 | | | | |
| 執行率(%) | | 88% | 90% | 97% | | | | | |
| 当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) | | 88% | 90% | 97% | | | | | |
| 平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円) | 歳出予算目 | 31年度当初予算 | 32年度要求 | 主な増減理由 | | | | | |
| | 庁費 | 60 | 104 | 「新しい日本のための優先課題推進枠」57 令和2年夏頃に策定予定の次期水循環基本計画において、重点的に取り組む内容として流域マネジメントの更なる展開と質の向上を位置づける予定であり、全国各地の流域における流域水循環計画策定の支援や流域マネジメントによる施策効果の「見える化」に向けた施策を推進するため。 | | | | | |
| | 委員等旅費 | 1 | 5 | | | | | | |
| | 職員旅費 | 3 | 5 | | | | | | |
| | 諸謝金 | 1 | 1 | | | | | | |
| | - | - | - | | | | | | |
| 計 | 65 | 115 | | | | | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 中間目標 - 年度 | 目標最終年度 - 年度 |
| | - | - | 成果実績 | - | - | - | - | - | |
| | | | 目標値 | - | - | - | - | - | |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | - | |
| 根拠として用いた 統計・データ名 (出典) | | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 | | | | | | | チェック | | |

| 定量的な成果目標の設定が困難な場合 | 定量的な目標が設定できない理由 | | | 定性的な成果目標と28～30年度の達成状況・実績 | | | | | |
|----------------------------|------------------------------------|---|-------|--------------------------|--|----------|----------|--------------|---------------|
| | 定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標 | 計画の推進に向けた課題等を検討するための経費であり、定量的な目標及び成果実績を定めることは現時点で困難である。 | | | <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画の施策推進にあたっての課題が適切に検討、解決される。 <p>【達成状況・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年版水循環白書の第1部(水循環施策をめぐる動向)および第2部(平成29年度講じた施策)において施策の推進状況について報告し、新たに「渇水」をテーマとした特集を加えて、より深く水に関する取組を紹介した。 「先進的な流域マネジメントに関するモデル調査」としてのべ12団体(平成28年度は3団体、平成29年度は6団体平成30年度は3団体)の取組の実態調査や活動支援を実施した。 「流域水循環計画」として合計35計画をとりまとめ公表した。 全国で合計22回(平成28年度は9箇所、平成29年度は5箇所、平成30年度は8箇所)において説明会を実施し、普及啓発に努めた。 「流域水循環計画策定の手引き」および「水循環に関する計画事例集」を更新しウェブサイトにて公表した。 水の日ポスターの掲示および「水を考えるつどい」を開催し、水循環に関する普及啓発に努めた。また、流域マネジメントを国民的な活動とするため、「水循環シンポジウム2018」を開催した。 | | | | |
| 事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績 | 代替目標 | 代替指標 | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 中間目標 31年度 | 目標最終年度 -年度 |
| | 様々な水循環施策を総合的かつ計画的に推進するための調査等を実施する。 | 水循環基本計画等に掲げられた各施策に資することが可能となる。 | 実績 | 件 | 1 | 2 | 2 | - | - |
| | | | 目標値 | 件 | 1 | 1 | 1 | 1 | - |
| | | | 達成度 | % | 100 | 100 | 100 | - | - |
| 活動指標及び活動実績(アウトプット) | 活動指標 | | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 活動見込 | 32年度 活動見込 |
| | 検討及び調査の実施 | 活動実績 | 件 | 1 | 2 | 2 | - | - | |
| | | 当初見込み | 件 | 1 | 1 | 2 | 1 | 4 | |
| | モデル調査事業実施 | 活動実績 | 団体 | 3 | 6 | 3 | - | - | |
| | | 当初見込み | 団体 | 3 | 6 | 3 | - | - | |
| | 説明会の実施 | 活動実績 | 回 | 9 | 5 | 8 | - | - | |
| | | 当初見込み | 回 | 9 | 5 | 9 | 4 | 4 | |
| | 水循環シンポジウム開催 | 活動実績 | 回 | - | 1 | 1 | - | - | |
| 当初見込み | | 回 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| 単位当たりコスト | 算出根拠 | | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度活動見込 | |
| | 検討及び調査に必要な経費／検討及び調査の実施件数 | 単位当たりコスト | 百万円 | 35 | 30 | 31.5 | 65 | | |
| | | 計算式 | 百万円/件 | 35百万円/1件 | 60百万円/2件 | 63百万円/2件 | 65百万円/1件 | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|----------------------|------------|-----|------|------|---------------|-------------|------|--------------|----------------|--|--|--|
| 政策評価、新経済・財政再生計画との関係 | 政策 | - | | | | | | | | | | | |
| | 施策 | - | | | | | | | | | | | |
| | 測定指標 | 定量的指標 | | | 単位 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 中間目標 - 年度 | 目標年度 - 年度 | | | |
| | | | | 実績値 | - | - | - | - | - | - | | | |
| | | | | 目標値 | - | - | - | - | - | - | | | |
| | | 定性的指標 | 目標 | | 目標年度 | 施策の進捗状況(目標) | | | | | | | |
| | | | | | | - | - | | | | | | |
| | | | | | | - | 施策の進捗状況(実績) | | | | | | |
| | 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係 | | | | | | | | | | | | |
| | - | | | | | | | | | | | | |
| 新経済・財政再生計画改革工程表 2018 | 取組事項 | 分野: | - | | | | | | | | | | |
| | (第一階層) KPI | KPI (第一階層) | | | 単位 | 計画開始時 - 年度 | 30年度 | 31年度 | 中間目標 - 年度 | 目標最終年度 - 年度 | | | |
| | | | | 成果実績 | - | - | - | - | - | - | | | |
| | | | | 目標値 | - | - | - | - | - | - | | | |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | - | - | | | | |
| | (第二階層) KPI | KPI (第二階層) | | | 単位 | 計画開始時 - 年度 | 30年度 | 31年度 | 中間目標 - 年度 | 目標最終年度 - 年度 | | | |
| | | | | 成果実績 | - | - | - | - | - | - | | | |
| | | | | 目標値 | - | - | - | - | - | - | | | |
| | | | 達成度 | % | - | - | - | - | - | | | | |
| | 本事業の成果と取組事項・KPIとの関係 | | | | | | | | | | | | |
| - | | | | | | | | | | | | | |

事業所管部局による点検・改善

| 事業所管部局による点検・改善 | | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|--|-----|-----------------------|---|--|--|
| | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 | | | | | |
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 近年、都市部への人口の集中、産業構造の変化、地球温暖化に伴う気候変動等の様々な要因が水循環に変化を生じさせ、それに伴い、渇水、洪水、水質汚濁、生態系への影響等様々な問題が顕著となってきており、これらに対応するため、水循環に関する施策について総合的かつ一体的に推進する流域マネジメントの取組を推進する必要がある。 | | | | | |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 水循環基本計画において、「国は、流域水循環計画の策定の水循環に関連する様々な情報を収集・共有できる環境整備のための取組を推進する。」とされている。 | | | | | |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 水循環基本計画に「国は、流域水循環計画の策定推進のため、流域ごとの目標を設定するための考え方等を示した手引きや、優良事例等を掲載する事例集の作成、情報基盤の整備などの必要な支援を行う。」とされており、達成手段として必要かつ適切である。 | | | | | |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度には一者応札が3件発生しているが、結果として一者応札となったものであり、一般競争入札により競争性を確保している。 ・競争性のない随意契約は、東京メトロの回数券購入のみである。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td>有</td> </tr> </table> | 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | | 有 | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 有 | | |
| | 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 有 | | | | | | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 有 | | | | | | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - | | | | | |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 支出先の選定にあたっては一般競争入札を実施しており、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されていることから、コスト等の水準は妥当である。 | | | | | |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | - | | | | | |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | ・流域マネジメントの推進、「水を考えるつどい」の企画運営、水循環白書の作成は、水循環基本法又は水循環基本計画において実施することとなっており、実施内容は事業目的に即し真に必要なものだけに限定されている。 | | | | | |
| 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | | | | | | |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | | | | | | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | - | - | | | | | | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・「流域水循環計画策定の手引き」および「水循環に関する計画事例集」を作成しウェブサイトにて公表した。 ・「流域水循環計画」として35計画をとりまとめ公表した。 以上から成果実績は見合ったものとなっている。 | | | | | |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | - | - | | | | | |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・「先進的な流域マネジメントに関するモデル調査」としてのべ3団体の取組の実態調査や活動支援を実施した。 ・全国で合計8回の説明会を実施し、普及啓発に努めた。 ・「水の日」関連業務を実施し、水循環に関する普及啓発に努めた。 以上から活動実績は見合ったものとなっている。 | | | | | |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | ○ | 成果については、平成30年版水循環白書(平成30年6月5日閣議決定)の第1部(テーマ章)及び第2部(平成29年度に講じた施策)に記載し、関係者のみで無く一般の方に広く情報提供するとともに、各地方公共団体等においても十分に活用されている。また、令和元年度版水循環白書(令和元年6月25日閣議決定)においては、「国際」をテーマに特集項目を設け、水問題における国際社会の一員としての我が国が果たすべき役割などの認識について国民の共通認識を醸成することとした。 | | | | | |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | - | - | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 所管府省名 | 事業番号 | 事業名 | | | | |
| 所管府省名 | 事業番号 | 事業名 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 点検・改善結果 | 点検結果 | | 国費投入の必要性、事業の効率性及び事業の有効性のいずれの観点からも、効果的・効率的に実施されている。成果実績の表現方法については、本年度発注予定業務内でも流域水循環計画の取組状況についてさらに調査を進める予定であることから、引き続き検討事項としていきたい。 | | | | | |
| | 改善の方向性 | | 事業の実施にあたっては、局内会議である水循環政策本部事務局会議を原則毎週開催し、十分な情報提供や手戻りの無い業務執行とするなど効率的な実施方法およびコスト削減に努めていくこととする。 | | | | | |

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。
また、成果目標の設定については、今年度においても流域水循環計画の取組状況は継続して確認することであるが、目標設定のための検討時期の目安の明示を行うなど、引き続き検討すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

引き続き事業の実施にあたっては、適切な時期に水循環の各分野に関する専門家である水循環アドバイザーの会議を開催し意見を聴取したうえで、水循環政策本部事務局メンバーの会議を原則毎週開催し、効率的な施策推進およびコスト縮減に努めるとともに、改めて取組を精査し概算要求に反映する。また、成果目標の設定については、水循環基本計画の見直しや、地域の実情、地方公共団体の意向等を踏まえ、検討を進める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

| 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|--------|---------------|--------|--------|
| | | | |
| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| | 新27-0002 | 0018 | 0018 |
| 平成30年度 | 内閣官房 (0016) | | |

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣官房
63百万円

※四捨五入の関係で、合計(内閣官房)は必ずしも一致しない。

〔 水循環推進経費 〕

【一般競争契約(総合評価)】

A. 公益財団法人 リバーフロント研究所
32百万円

〔 流域マネジメント推進に関する
調査等業務 〕

【一般競争契約(総合評価)】

B. 日本工営株式会社
10百万円

〔 水循環の健全性評価手法の開発に
関する調査業務 〕

【一般競争入札(総合評価)】

C. 株式会社廣済堂
9百万円

〔 「水を考えるつどい」に係る
企画・運営等業務 〕

【一般競争契約(最低価格)】

D. 日経印刷株式会社
4百万円

〔 水循環白書作成業務 〕

【随意契約(少額)】

E. 株式会社双文社
2百万円

〔 「流域マネジメントの手引き」及び「流域マネ
ジメントの事例集」の印刷製本業務 〕

【随意契約(少額)】

F. 株式会社ストリームグラフ
1百万円

〔 水環境に関するウェブサイト構築・運営等業務 〕

【随意契約(少額)】

G. 株式会社博報堂
0.9百万円

〔 健全な水循環に関するポスター原案作成 〕

【随意契約(少額)】

H. 公益財団法人 リバーフロント研究所
0.5百万円

〔 水循環施策の説明に用いるイラスト図及び
資料の検討・作成業務 〕

【随意契約(少額)】

I. 株式会社双文社
0.4百万円

〔 「流域マネジメントの事例集」の増刷 〕

【随意契約(少額)】

J. 有限会社L. D企画印刷
0.3百万円

〔 健全な水循環に関するポスター印刷 〕

【随意契約(少額)】

K. カンタムソリューションズ
株式会社
0.1百万円

〔 「流域マネジメントの手引き」及び「流域マネ
ジメントの事例集」の梱包発送 〕

【随意契約(少額)】

L. 有限会社L. D企画印刷
0.1百万円

〔 健全な水循環に関するポスター発送 〕

【その他(事務経費)】

M. 民間企業(8者)
0.2百万円

〔 地下鉄回数券、タクシー利用料金等 〕

【その他】

N. 個人(32者)
2百万円

〔 諸謝金、職員旅費、委員等旅費 〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

| A.公益財団法人 リバーフロント研究所 | | | B.日本工営株式会社 | | |
|---------------------|---------------------------------------|--------------|------------|-----------------|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 人件費 | スタッフ | 25 | 人件費 | スタッフ | 8 |
| その他 | 一般管理費、消費税 | 4 | その他 | 一般管理費、消費税 | 2 |
| 旅費 | スタッフ、有識者 | 1 | 印刷製本費 | 報告書印刷 | 0 |
| 借料 | 会場借料 | 1 | 消耗品費 | | 0 |
| 謝金 | 有識者 | 1 | 旅費 | | 0 |
| 印刷製本費 | 会議資料 | 0 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 32 | 計 | | 10 |
| C.株式会社廣済堂 | | | D.日経印刷株式会社 | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 人件費 | スタッフ(規格、運営、PR業務、アンケート、制作進行管理等)、司会者出演料 | 7 | 印刷製本費 | 平成30年版水循環白書 | 4 |
| 施設管理費 | 会場設営費 | 2 | 役務 | 電子書籍化、SGMLデータ化等 | 0 |
| 印刷製本費 | 報告書、アンケート用紙、プログラム台本等 | 0 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 9 | 計 | | 4 |
| E.株式会社双文社 | | | F. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 印刷製本費 | 流域マネジメントの手引・事例集 | 2 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 2 | 計 | | 0 |

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-------------------|---------------|---------------------|--------------|------------------|----------------|-----|---|
| 1 | 公益財団法人 リバーフロント研究所 | 1010005018655 | 流域マネジメント推進に関する調査等業務 | 32 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | - | 落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。 |

B

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|----------|---------------|------------------------|--------------|------------------|----------------|-----|---|
| 1 | 日本工営株式会社 | 2010001016851 | 水循環の健全性評価手法の開発に関する調査業務 | 10 | 一般競争契約 (総合評価) | 1 | - | 落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。 |

C

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---------|---------------|-----------------------|--------------|------------------|----------------|-----|---|
| 1 | 株式会社廣濟堂 | 7010401009665 | 「水を考えるつどい」に係る企画・運営等業務 | 9 | 一般競争契約 (総合評価) | 2 | - | 落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。 |

D

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|----------|---------------|-----------|--------------|------------------|----------------|-----|---|
| 1 | 日経印刷株式会社 | 7010001025732 | 水循環白書作成業務 | 4 | 一般競争契約 (最低価格) | 1 | - | 落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。 |

E

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---------|---------------|---------------------------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| 1 | 株式会社双文社 | 1010001004320 | 「流域マネジメントの手引き」及び「流域マネジメントの事例集」の印刷製本業務 | 2 | 随意契約 (少額) | - | - | 落札率については、予定価格が類推される恐れがあることから未記載とする。 |

F

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|--------------|---------------|-----------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| 1 | 株式会社ストリームグラフ | 2021001046185 | 水環境に関するウェブサイト構築・運営等業務 | 1 | 随意契約 (少額) | - | - | |

G

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---------|---------------|--------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| 1 | 株式会社博報堂 | 8010401024011 | 健全な水循環に関するポスター原案作成 | 0.9 | 随意契約 (少額) | - | - | |

H

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-------------------|---------------|-------------------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| 1 | 公益財団法人 リバーフロント研究所 | 1010005018655 | 水循環施策の説明に用いるイラスト図及び資料の検討・作成業務 | 0.5 | 随意契約 (少額) | - | - | |

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

| I | | | | | | | | |
|---|---------|---------------|-------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | 株式会社双文社 | 1010001004320 | 「流域マネジメントの事例集」の増刷 | 0.4 | 随意契約 (少額) | - | - | - |

| J | | | | | | | | |
|---|--------------|---------------|------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | 有限会社L. D企画印刷 | 7010702001503 | 健全な水循環に関するポスター印刷 | 0.3 | 随意契約 (少額) | - | - | - |

| K | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------|-------------------------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | カンタムソリューションズ株式会社 | 5010801021701 | 「流域マネジメントの手引き」及び「流域マネジメントの事例集」の梱包発送 | 0.1 | 随意契約 (少額) | - | - | - |

| L | | | | | | | | |
|---|--------------|---------------|------------------|--------------|--------------|----------------|-----|---|
| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | 有限会社L. D企画印刷 | 7010702001503 | 健全な水循環に関するポスター発送 | 0.1 | 随意契約 (少額) | - | - | - |

| M | | | | | | | | |
|---|------------------------|---------------|------------------|--------------|------------------|----------------|-----|---|
| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | 東京地下鉄株式会社 | 4010501022810 | 地下鉄メトロの回数券購入 | 0.1 | 随意契約 (その他) | - | - | - |
| 2 | 東京都個人タクシー協同組合 | 6011205000092 | 職員の深夜帰宅に係るタクシー料金 | 0 | 随意契約 (公募) | - | - | - |
| 3 | 株式会社秋山商会 | 8010001036398 | 備品の購入 | 0 | 随意契約 (少額) | - | - | - |
| 4 | 有限会社創電社 | 4010502006218 | 消耗品の購入 | 0 | 随意契約 (少額) | - | - | - |
| 5 | 有限会社リエゾン・オフィス | 2010402015816 | 消耗品の購入 | 0 | 随意契約 (少額) | - | - | - |
| 6 | エコウ商事有限会社 | 4010502015219 | 消耗品の購入 | 0 | 随意契約 (少額) | - | - | - |
| 7 | サントリービバレッジサービス(株)東京南支店 | 6012401010323 | 会議等に供する飲料等の提供 | 0 | 一般競争契約 (最低価格) | 1 | - | - |
| 8 | チェッカーキャブ無線協同組合 | 5010005001475 | 職員の深夜帰宅に係るタクシー料金 | 0 | 随意契約 (公募) | - | - | - |

| N | | | | | | | | |
|----|-------|------|----------------------------|--------------|-------|----------------|-----|---|
| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | 職員a | - | 出張旅費 | 0.5 | | - | - | - |
| 2 | 職員b | - | 出張旅費 | 0.2 | | - | - | - |
| 3 | 外部委員a | - | 流域水循環アドバイザー会議等に関する旅費、謝金 | 0.1 | | - | - | - |
| 4 | 職員c | - | 出張旅費 | 0.1 | | - | - | - |
| 5 | 外部委員b | - | 水循環施策の推進に関する有識者会議に関する旅費、謝金 | 0.1 | | - | - | - |
| 6 | 外部委員c | - | 全日本中学生水の作文コンクール表彰式に関する旅費 | 0.1 | | - | - | - |
| 7 | 外部委員d | - | 水循環施策の推進に関する有識者会議に関する旅費、謝金 | 0.1 | | - | - | - |
| 8 | 税務署 | - | 税金 | 0.1 | | - | - | - |
| 9 | 職員d | - | 出張旅費 | 0.1 | | - | - | - |
| 10 | 外部委員e | - | 全日本中学生水の作文コンクール表彰式に関する旅費 | 0.1 | | - | - | - |